

IVUS で血栓を捕らえた像を多数見せていただき非常に参考になりました。しかし、壁在の血栓は不安定プラーク等があると、判別が難しく十分な観察が必要と感じた。血栓上に stent を留置してしまうと **Incomplete stent apposition** の原因にもなる為、血栓の同定(特に ACS 時)には十分な注意を払うよう今後気を付けていきたいと思えます。

解離の像についても、放置可能な解離、放置すると急性閉塞の原因となる解離と両方の像を見せてもらい参考になりましたが、説明があった上での理解で現場ではこれも十分な注意が必要と感じました。

protrusion(内腔への突出)という言葉が今回初めて知りました。以前 ACS に stent を留置した時に stent 内に透亮像を認め追加で stent を留置しましたが、IVUS で確認していれば(その時は IVUS 使用せず)、このような現象が起こっていたのだろうと感じました。また、会の後の PCI でも stent 内への **protrusion** を確認する機会がありました。

血腫の IVUS 像を抹消から見たことはあまり無かったので、血腫の先端に造影剤が溜まっている IVUS 像を見せていただきこれも参考になりました。造影上では抹消に造影剤が溜まっているのをよく目にしますが、IVUS ではお目にかかったことが無いのであの真っ黒な像は非常に印象に残りました。

malapposition(incomplete stent apposition)の定義についても説明していただき参考になりました。側枝がある場所はそうでは無いというのは想像に難くありませんが、stent の strut の後に血流を認める事が定義であるという事は今回の説明で初めて知りました(strut 間のみ stent 外の血流は **cavitation** という事も初めて知りました)。